

下水道直結式トイレ

○ 導入の趣旨

災害発生時に避難所の給排水が使用できない場合に備え、避難所に災害用トイレを備蓄しています。

○ 使用想定

- ・避難所の既設トイレが使用できない場合に、震災用マンホール上にテントと便座を設置して使用します。(夜間使用できるように照明も設置してください。)
- ・下水道直結式トイレは、設置に際して条件があるため、使用の際は各区役所(区本部)に必ず連絡してください。
- ・下水道に直接排出するため、下水道が破断していなければ容量は関係なく使用できます。下水道が途中で破断している場合でもマンホールの容量分は貯留できます。

○ 配備物品一覧

【外観】



○サイズ(横×奥行×高さ)
約 100×100×40cm
○重さ
約 50kg

照明(電池付き)



※トイレ 1 基につき照明
1 個を配備しています。
(トイレとは別梱包)

【内容物】



トイレ本体部品



テントフレーム部品



テント外幕部品

震災用マンホール



【設置後】



※納品年度により外観・内容物が異なる場合があります。

○ 使用の手順・注意点

詳細は取り扱い説明書をご覧ください。

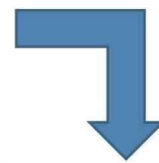
○ 設営は二人以上で行ってください。

① 梱包を開け、トイレ部品、説明書を確認します。

② トイレ本体部品を組み立てます。



③ トイレ本体の周りにテントフレーム、外幕を組み立てます。



照明は、照明ホルダーや照明本体のフックでトイレ内に設置することができます。



【注意】

- 事前に定めた設置場所に組み立てて設置してください。
- 照明は付属の単一乾電池で72時間連続して使用可能ですが、日中など不要な場合は消灯してください。

震災用ふたの取り外し方法

ふたの重量は約50kgあるので、腰痛や指・足をはさまないように気をつけてください。

①



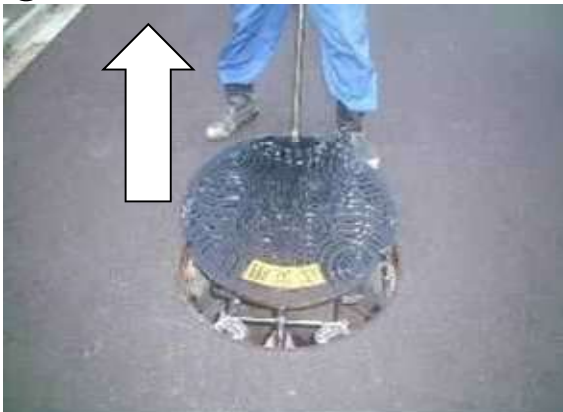
ボール穴にボールを差し込み、受枠を支点にして、テコの原理でボールを押し下げて、ふたと受枠とのくい込みを外します。

②



ボール穴にボールを差し込みボールのT字が体と向かい合うように90度回転させます。

③



ボールでふたを手前斜め上に持ち上げ、引き寄せます。

④



引き寄せたふたを持ち上げながら、90度回転させます。

⑤



ふたを持ち上げ、受枠からふたを取り外します。

※外したふたは安全な場所に保管してください。

⑥



完了

くみ取り式トイレ

○ 導入の趣旨

災害発生時に避難所の給排水が使用できない場合に備え、避難所に災害用トイレを備蓄しています。

○ 使用想定

- ・避難所の既設トイレが使用できない場合に、敷地内にテントと便座を組み立てて設置して使用します。便槽がいっぱいになったらくみ取りが必要です。
- ・くみ取り式トイレには固体と液体を分離する機能があるため、延長ホースを接続して液体分を便槽外（下水マンホール等）に放流してくみ取りなしで長期間使用することも可能です。

○ 配備物品一覧

【外観】※ドントコイの場合



○サイズ（横×奥行×高さ）
約 140×70×40cm
○重さ
約 50kg

照明(電池付き)



※トイレ 1 基につき照明 1 個を配備しています。
(トイレとは別梱包)

【内容物】※ドントコイの場合



【設置後】



※納品年度により外観・内容物が異なる場合があります。

○ 使用の手順・注意点

組立方法の詳細は取扱説明書をご覧ください。

- 設営は二人以上で行ってください。
- 設置場所は安全で平坦な場所を選んでください。

① 梱包を開け、トイレ部品、説明書を確認します。

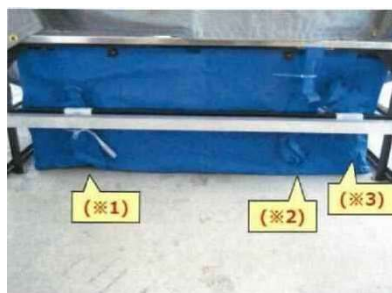
② トイレ本体部品・フレームを組み立てます。

③ フレームの周りにテントを広げます。



※周囲がグラウンド等で固定具を使用できる場合
部品箱に入っている固定具(ペグ、固定用ロープ等)で全体を固定します。

○ 延長ホースの接続 (液体分を排出できる場合)



部品箱の延長ホース



① 本体の延長ホース(※1)を延ばす

② 延ばした延長ホースの先を接続パイプとホースバンドで部品箱に入っている延長ホースとつなげる。

③ 放流可能なマンホールまで延長ホースを延ばす。
(下水道が無い場合は、浄化槽のマンホールに流す)

○ 使用の手順・注意点

○ 完成後



照明は、照明ホルダーや照明本体のフックでトイレ内に設置することができます。



約 2 日分のし尿をためることができます。
※1 基/100 人/日使用時

【注意】

- 事前に定めた設置場所に組み立てて設置してください。
- 便槽がいっぱいになり、くみ取りが必要な場合は総務班へ連絡してください。
- 仮設トイレは可能な限り男性用と女性用を分けるように配慮してください。
- 照明は付属の単一乾電池で 72 時間連続して使用可能ですが、日中など不要な場合は消灯してください。

簡易パック式トイレ

○ 導入の趣旨

災害発生時に避難所の給排水が使用できない場合に備え、避難所に災害用トイレを備蓄しています。

○ 使用想定

- 道路の寸断等によりくみ取りが滞ることも想定し、専用の袋内に用を足した後に凝固剤をかけて固めて可燃ごみとして処分できる簡易パック式トイレを配備しています。

○ 配備物品一覧

【外観】「ベンリー袋」の場合



○サイズ（横×奥行×高さ）
約 25×35×10cm
○重さ
約 2kg

【内容物】1箱 100回分入り
• 排便袋（100枚）
• 凝固剤（100包）
• 説明書 1部

【中身】「ベンリー袋」の場合



排便袋

凝固剤

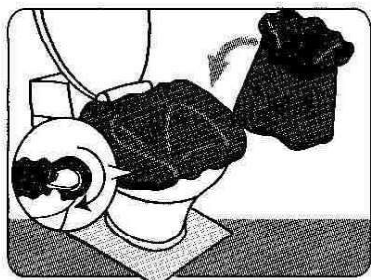
説明書

【既存トイレでの使用時】

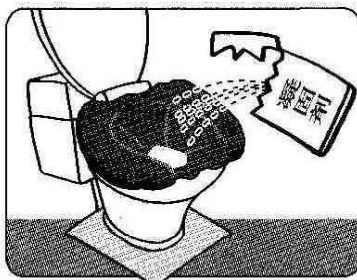


※納品年度により外観・内容物が異なる場合があります。

○ 使用の手順・注意点



① 既存トイレに専用排便袋をかぶせます。



② 用を足した後、凝固剤をふりかけて固めます。



③ 専用排便袋を取り出し、開口部を結びます。袋ごと可燃ゴミとして焼却処分。

【注意】

- 給排水が利用できない場合、既存の洋式トイレの個室で使用してください。
- 仮設トイレが使用できない場合の他、仮設トイレが使用できる場合も併用して使用することがあります。
- 使用後の簡易パック式トイレは、便袋のみをまとめてごみ袋に入れ、他の可燃ごみと分けて集積してください。（可燃ごみとして収集します。）
- 施設等にあるごみ袋などがかぶせた上で、①からの作業を行うと衛生的です。

簡易洋式便座

○ 導入の趣旨

災害発生時に、主な避難所となる小中学校の和式トイレを洋式トイレに変換して活用できるよう、市内の小中学校に和式便座の上に設置する軽量の便座を配備しています。

○ 使用想定

- 和式便座の上に組み立てて設置し、高齢の方や障害のある方、子供たちなどが使用しやすい洋式トイレとして使用できるようにします。
- 「簡易パック式トイレ」と一緒に使うことにより、屋外の仮設トイレを利用するのが困難な方や不安を感じる方が既設の個室空間を活用して簡易トイレを作ることでもあります。

○ 配備物品一覧

【外観】



○サイズ（横×奥行×高さ）
約 70×60×3cm
○重さ
約 1kg

【中身】



【和式トイレでの使用時】

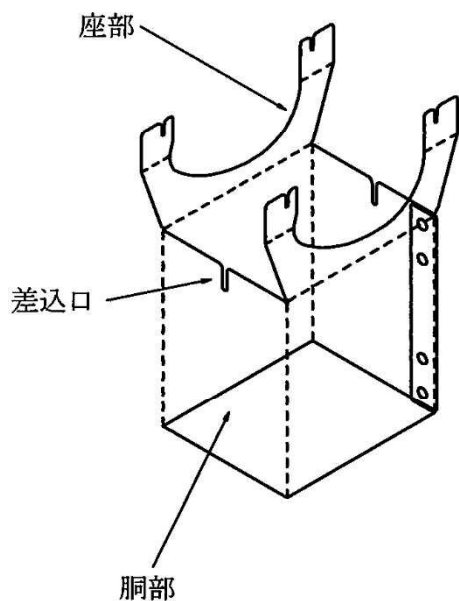


【簡易パック式トイレ使用時】

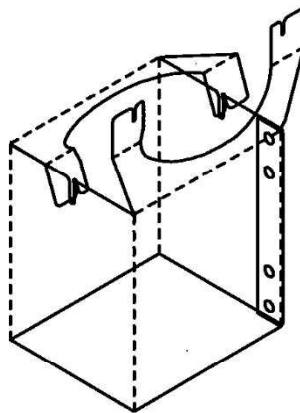


○ 使用の手順・注意点

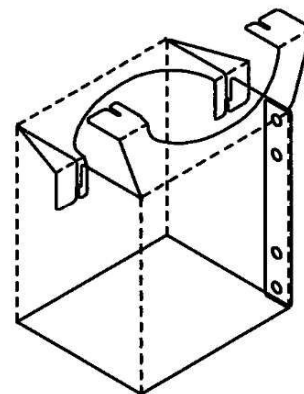
①箱を開きます。



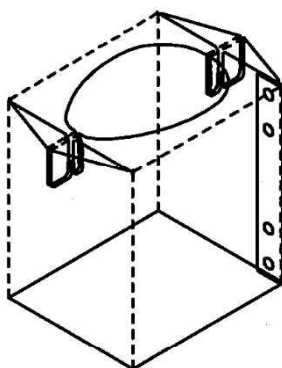
②座部両端にある差込を
胴部差込口に組込
みます。



③対面にある座部も同様に
組込みます。



④座部が浮き上がらないよう
にしっかり組み込まれてい
ることを確認してください。



【組立後】



【簡易パック式トイレ使用时】



※排便袋をかぶせて使用します。

【注意】

- 既設の和式トイレの個室で便器の上に設置して使用してください。
- 既設トイレの給排水が利用できない場合は、必ず簡易パック式トイレを組み合わせて使用してください。